

11年3月
 第149号

～カーミージー海浜公園～

基本構想で熱い議論

22日再討議でまとめへ

カーミージー海浜公園計画の基本構想は、3日の「第3回ワークショップ」でまとめる手配になっていましたが、事務局、行政、市民間で認識の違いが大きく、結局当日のまとめは持ち越しとなりました。議論の焦点は今回の公園対象地(埋立地)の位置づけと西海岸海浜活用との相関性。

WS参加者の多くの意見は「可能な限り自然の海浜に」「体験学習施設の設置」「駐車場やトイレ、休憩所等の配置」「カーミージー後方の水路の復活」などを求め、西海岸全体の海浜特長を活かす拠点化を訴えています。意見交換の中で、浦添市側も「将来的には海岸線後方のキャンプキンザー地域も対象にした海浜公園構想」の方向性を提示しています。

22日の第4回WSでは、あらためてこれまでの住民意見、



市の長期展望をふまえた「基本構想案」が提示される予定です。また、沖食用地への複合施設などとの関連性も新たな視点で示される予定です。写真は第3回WS(公民館)

地域の個性活かすまちへ

「まちづくりフォーラム」

28日行われた市のまちづくりプラン賞10周年記念企画フォーラムには、会場(ハーモニーセンター)に入りきれないほどの多数の市民が駆けつけ、関心の高さを見せていま

した。近年のまちづくりへの取り組み事例として、当自治会も里浜活動を中心とした、新しい地縁社会・ふるさと再生活動の背景や現状を報告、パネリストの立場から今後の課題や将来像、自治会の役割などを提起しました。

会場で準備された西原自治会のジュースや漬物、当自治会のアーサ汁、ヒラヤーチーは、参加者から大好評でした。

また 高層マンション計画

上港川 国道沿い

計画を進めているのは第一交通産業グループの「沖縄第一不動産(株)」。同社によると規模は14階建てで65棟。着工は4月1日予定。建設場所は教会に隣接する高台(元たまき米屋邸宅跡地)で、教会裏手が駐車場になる予定。評議員会では市及び事業者に対し①早急な市道の抜本整備②その間の交通悪化に対し、とくに通学児童・生徒などへの安全対策③工事に伴う騒音や振動による周辺住宅への被害防止策、交通安全対策などを求めることにしました。

浦添市は、景観上も問題があるとしながらも「現在の法制度では規制に限界がある」との説明。自治会



まるで食事会？。アーサ汁は「おかわり」を求める人も。(フォーラム会場)

花は2分 車中は満開
 春のバスツアー



では、新しい「都市計画マスタープラン」策定作業を通し、今後の市行政で独自の規制策を要求しています。

心待ちしていたつつじ祭見物でしたが、今年は開幕はしていても花はチラホラ。残念。最近の気象異常、寒さのせいでしょうか？。しかし、当日は西原高校のマーチングも。全国最高レベルの演技が見れてラッキーでした。車中もガイド(照屋マリ江さん)の歌、踊り、軽快なトークで、楽しい1日でした。写真。

第2回アーサ採り

20日(日)午後12時30分

※キンザーゲート右側フェンス沿いまっすぐが集合場所。当日は現地にアーサ汁を準備します。あみ袋などの入れ物もお忘れなく。足下は濡れてもいいように。

3月のふれあいサロン

28日(月)午後2時

場所 公民館

※新年度の活動に向けた意見交換、がんじゅう訪問を計画しています。